

東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...

11月&  
12月号

# 福玉便り

2022年11月1日発行

ふ く た ま だ よ り

通巻 第99号

発行:『福玉便り』編集委員会 NPO法人埼玉広域避難者支援センター・(一社)埼玉県労働者福祉協議会

協力:生活協同組合コープみらい埼玉県本部

連絡先:NPO法人埼玉広域避難者支援センター 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6-4-21 ときわ会館1F TEL0120-60-7722



## 『福玉便り』第100号へのメッセージのお願い

『福玉便り』は、東日本大震災・福島原発事故によって埼玉県内に避難された方々の情報誌として、2012年4月に創刊しました。それから約11年を経て、次号の2023年1月&2月号で第100号を迎えます。編集作業はいつも試行錯誤の連続でしたが、どうにかここまで刊行を続けることができたのは、読者の皆様のお陰です。本当にありがとうございます。

つきましては100号を迎えるにあたって、読者の皆様からメッセージを募集したいと思います。最近お感じになっていることや、『福玉便り』100号へのメッセージ、『福玉便り』に対するご意見やご要望などを、同封のはがきに自由にご記入いただき、2023年1月31日(火)までにご返送いただいてもよろしいでしょうか?期日を過ぎた場合でも適宜ご投函いただければ幸いです。はがきに入りきらない場合は、便箋等でNPO法人埼玉広域避難者支援センター(上記住所)までお送りいただいても結構です。

皆様からいただいたお声は、『福玉便り』第101号にてご紹介させていただく予定です。編集部一同、皆様からのメッセージを心待ちにしております。どうぞよろしくお願ひします。

### 牛山先生による「甲状腺検査&よろず健康相談会」を開催します。

どなたでもお気軽にご参加ください。

日時:2022年12月25日(日) 11:00~15:00

場所:埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)

JR 京浜東北線、高崎線・宇都宮線「さいたま新都心駅」から徒歩5分

JR 埼京線(各駅停車)「北与野駅」から徒歩6分

お問い合わせや申し込みは、福玉支援センター(080-4331-0290)まで。

主催:特定非営利活動法人埼玉広域避難者支援センター



福玉相談センター:電話 0120-60-7722 (フリーダイヤル)

メール: fukushima\_soudan@yahoo.co.jp 相談日:月、水~金(9:30~16:30)



みみ

福玉相談センターの開所日は、月曜日、水曜日、木曜日、金曜日の9:30~16:30です。電話相談ができない場合もありますが、メールでの相談は随時行っています。なお、メールでの相談は随時行っております。こちらから折り返し、ご連絡しますので、差し支えなければ、連絡先をメールの文面に記入していただくようお願いいたします。ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほど、よろしくお願ひいたします。



おんや

# 双葉町の一部避難指示解除 町営住宅入居の日に

福島県双葉町は、2022年

8月末、町の一部で避難指示が解除されました。10月1日から、双葉駅西口に建設された災害公営住宅の入居が始まっています。埼玉県に避難をしている

鵜沼久江さんのご自宅は、原発から約3<sup>キ</sup>の中間貯蔵施設敷地に隣接しています。この日、ゲートの向こうに、連れて行っても

(写真①)

鵜沼さんは、牛飼いをして暮らしていました。原発事故後、避難を強いられた後も、大切に育てていた牛を殺したくないと、何度も自宅に戻って餌と水を与えようと試みていました。しかし、警察や自衛隊から「この先には行っただけいけない」と20<sup>キ</sup>地点で制止され、牛の世話をする

があります。その牛小屋にも案内してもらいました(写真②)。今は亡き

夫と2人、手作りで建てたもの。夫は下で作業し、鵜沼さんは屋根の上で作業をして作り上げた

と教えてくれました。中に入ると、鵜沼さんは黙って足元を見つめていました。よく見ると、牛の骨が残っていました。

「ここに挟まっていた牛は、つらかっただろうと思うのよ」。外に出たくて、柵の間に挟まって死んでいたそうです。鵜沼さんが大切に育てていた牛は、一部は脱走し、人のいない町を走り回っていました。食べ物や水を求めていたのか、「鵜沼さん家の牛が、6号線(国道)にいたよ」と連絡があったこと

口調に、返す言葉がありません

でした。もう一カ所、連れて行ってほしかった場所がありました。鵜沼さんが度々、海を見るために訪れていた海岸です(写真③)。

鵜沼さんは、原発事故前の暮らしの中で、何かつらいことがある度に、細谷海岸で海を見て

いた、と話してくれたことがありました。その海岸も、中間貯蔵施設の敷地内で、地権者以外は自由に行き来できません。汚染土の保管場の間を通り抜ける

ち寄せていました。

「ここに来て海を見てみるとね。私が悩んでいること、全部ちっぽけだな、って思えたのよ」

自然の強さ、雄大さを感じさせる風景の端に、廃炉作業中の

この日は、鵜沼さんの友人の女性(双葉町から埼玉県に避難中)も一緒でした。鵜沼さん同様、明るいその女性も、この海岸に来て、海を見ながらふと話してくれたことがあります。その言葉が忘れられません。「震災後に初めて来た時、この海に飛び込みたかったの。震災後に初めて海を見たから、泣いたよね。(埼玉に)帰りたくなくて、どうやったらテトラポッドに打ち付けられずに沖に行けるかなんて考えてね……」。

来年10月までには∞世帯の住宅が完成する予定で、そのうち

26世帯の入居が決まっています。そのうち、22世帯は移住者だということ。

ガラス張りの入口、バリアフリーの室内、木をふんだんに使った3LDKの長屋風の建物には、住所らしき記号と番号がつけられていました。双葉駅に直結していて、交通の便は良いものの、周囲にお店やコンビニなどもないので、まだまだ不便そうにも思いました。

鵜沼さんは「この住宅の一部屋だけでもいいから、避難している町民のために貸し出してくれたらすごく助かるのに……」と話していました。埼玉県から双葉町に来て、泊まる場所がない鵜沼さんは、泊まる場所が困るそうです。避難を継続しながら、町との関わりを持つためにも、部屋を解放してほしいと考えています。双葉町に対して、その提案をしたことがあるそうですが、残念ながら、実現していません。





「いのがまんなかプロジェクト」は、みやぎ・きずなFプロジェクトのメンバーが、被災地を訪れ、被災者の声や経験を語り伝える活動を行っています。この活動を通じて、被災地の現状や復興の進捗を知り、被災者への支援を促すことが目的です。

被災者の方々に聞き取り調査を実施して壁新聞にまとめました。授業の終了後、「故郷を卒業して大学生」の活動が、被災地での活動の様子や、被災者の方々の声や経験を語り伝える活動の様子を詳しく紹介しています。

「いのがまんなかプロジェクト」は、みやぎ・きずなFプロジェクトのメンバーが、被災地を訪れ、被災者の声や経験を語り伝える活動を行っています。この活動を通じて、被災地の現状や復興の進捗を知り、被災者への支援を促すことが目的です。

編集部の原田が立教大学で受け持っている2年次ゼミが、9月17日・18日に宮城県七ヶ浜町を訪ね、町内各地の視察、防潮堤のおはじきアートへの参加、被災体験の聴き取り、などを実施しました。その一環で、学生たちとちよんどう同い年である、「きずなFプロジェクト」初代メンバーの皆さんと交流の機会を持つことができました。

「きずなFプロジェクト」の始まりは、2015年度に七ヶ浜町立向洋中学校の瀬成田先生が1年生向けの震災総合学習を実施したことに遡ります。この授業で生徒さんたちは、被災者の方々に聞き取り調査を実施して壁新聞にまとめました。授業の終了後、「故郷を卒業して大学生」の活動が、被災地での活動の様子や、被災者の方々の声や経験を語り伝える活動の様子を詳しく紹介しています。

「きずなFプロジェクト」の始まりは、2015年度に七ヶ浜町立向洋中学校の瀬成田先生が1年生向けの震災総合学習を実施したことに遡ります。この授業で生徒さんたちは、被災者の方々に聞き取り調査を実施して壁新聞にまとめました。授業の終了後、「故郷を卒業して大学生」の活動が、被災地での活動の様子や、被災者の方々の声や経験を語り伝える活動の様子を詳しく紹介しています。

「きずなFプロジェクト」の始まりは、2015年度に七ヶ浜町立向洋中学校の瀬成田先生が1年生向けの震災総合学習を実施したことに遡ります。この授業で生徒さんたちは、被災者の方々に聞き取り調査を実施して壁新聞にまとめました。授業の終了後、「故郷を卒業して大学生」の活動が、被災地での活動の様子や、被災者の方々の声や経験を語り伝える活動の様子を詳しく紹介しています。

## 「きずなFプロジェクト」(宮城県七ヶ浜町)との交流



爽と手伝いをはじめていました。終わって声をかけると、「双葉町ってね、こんなふうだったのよ」と笑って話してくれました。

いわき市に避難中の男性は、今日が入居の日だと聞いてやってきたそうです。

「川の水は、使っちゃダメなんだ。羽鳥(放射線量が高い地域)から前田川(水源)が汚染されている。(農作物を)作っても、食糧にはならん。廃棄物だ。ここだって、本当は安全じゃない」

町営住宅の空き家の縁側で、鶴沼さんと男性は、そんな複雑な思いも話し合っていました。

この地域の人々の、町を愛する気持ちと、まだ回復されない原発事故の爪痕との間で引き裂かれる思いを、忘れてはならないと改めて思った1日でした。

## 未来を奪われた子どもたち 原発事故と小児甲状腺がん

講師：白石草 (NPO法人 OurPlanet-TV代表理事)

日時：12月18日(日) 13時30分開場  
14時開演～16時30分終了  
参加費：500円  
場所：ウエスタ川越 活動室1・2



白石草(はじめ)プロフィール  
・ジャーナリスト/OurPlanet-TV代表。放送局勤務などを経て、2001年に非営利のインターネットメディアOurPlanet-TVを設立。テレビでは扱いにくいテーマなどを中心に3.11後の一連の原発報道が評価され、放送ウーマン賞、JCG日本ジャーナリスト会賞、科学ジャーナリスト大賞、東京弁護士会人権賞などを受賞。主著に「ルポ チェルノブイリ28年目の子どもたち」(岩波ブックレット)ほか。現在、専修大学非常勤講師。子どもの甲状腺がん問題について継続的に取材。

主催：原発避難者と歩む川越 後援：ここカフェ川越 連絡先：鈴木直子 070-5080-4494 pororon311@gmail.com

新型コロナウイルスの感染拡大により、交流会の流動的な状況が続いておりますが、一部の交流会は感染対策の上で再開しています。また、状況に応じて他の交流会が再開される可能性もあります。詳しくは各交流会の連絡先にお問い合わせください。なお、各交流会に参加される方は、体温測定およびマスク着用の上でご参加いただき、参加中は消毒や換気にご協力ください。

③	加須市	双葉町老人クラブ女性会&さいがい・つながりカフェ	080-5532-7380 (薄井さん)
⑤	加須市	すくすくのおそび広場	090-2411-8598 (戸恒さん)
⑥	加須市	オバトン	090-6526-8560 (藤井さん)
⑧	上尾市	東日本大震災に咲く会ひまわり	080-3091-6215 (橘さん)
⑩	熊谷市	くまがや結の会	090-7661-9236(林崎さん)
⑬	越谷市	あゆみの会	090-9425-2001 (石上さん)
⑱	川口市	ひまわりの会	080-5431-0123 (島田さん)
⑲	さいたま市	さいがい・つながりカフェ	080-5532-7380 tunagari.saitama@gmail.com
⑳	新座市	新座つながりカフェ	090-2402-9155 (谷森さん)
㉗	ふじみ野市	おあがんなんしょ交流会	090-5345-8408 (松舘さん)
㉘	川越市	ここカフェ@川越	070-5080-4494 (鈴木さん)
㉚	さいたま市	玉兎の会	090-6128-1948 (小林さん) <a href="https://gyokutonokai.wixsite.com/2018">https://gyokutonokai.wixsite.com/2018</a>

### ③【双葉町老人クラブ女性会&さいがい・つながりカフェ】

11/22(火)、12/27(火) 10:00~12:00 ふたば交流広場  
080-5532-7380(薄井さん)

⑩【くまがや結の会】長引く新型コロナウエルスが続き向こう三軒両隣も今感染が身近に迫っているところです。落ち着く事を願い交流会は時期を検討中です。090-7661-9236(林崎さん)

㉘【ここカフェ@川越】参加者と日程調整しながら毎月開催しています。070-5080-4494(鈴木さん)

㉚【玉兎の会】対面、集合型での開催です。予約は要りません！お気軽にご参加ください。

11/27(日)、12/11(日) 10:30~12:00  
With Youさいたま 4F(11月:視聴覚室セミナー室、12月:セミナー室3) 048-854-8703(小林さん)  
<https://gyokutonokai.wixsite.com/2018>

### ⑤【すくすくのおそび広場】

ようやく再開！すくすくのおそび広場は、10/30(日)、11/20(日)に北川辺ライスパークにて。10:30集合。食事は子ども100円、大人300円。楽しい企画あり。

小中高生勉強会(無料塾)は毎木曜17:00から市民プラザかぞ5階で、ずっと頑張っています。090-2411-8598(戸恒さん)

⑥【オバトン】8月・9月は状況を見て短時間で実施しましたが、10月よりこれまで通り会場での食事・交流会をおこないます。火曜日は調理研修室に、木曜日は多目的ホールにお集まりください。変更や中止の時はハガキや電話でお知らせします。お待ちしております。

11/8(火)、11/24(木)、12/13(火)、12/22(木)  
10:00~14:30 キャッスルきさい  
090-6526-8560(藤井さん)

### ㉗【おあがんなんしょ交流会】

11/20(日) 歓談交流 13:30~16:00 西公民館集会室  
12/15(木) オレゴン縦でクリスマスアレンジ作り 13:30~16:00 西公民館視聴覚室  
090-5345-8408(松舘さん)

### ⑲【さいがい・つながりカフェ】

11/10(木)、11/24(木) 11:00~15:00  
With Youさいたま 4F和室 080-5532-7380  
、tunagari.saitama@gmail.com

## 政府出資の原子力損害賠償・廃炉等支援機構

### 原子力損害の賠償請求はすべてお済みですか？

#### 原子力損害賠償に関する個別相談のご案内

- ・請求漏れがないか相談したいという方
- ・まだ住居確保にかかる費用の賠償請求がお済みでない方
- ・住居確保にかかる費用の賠償可能残額がある方
- ・ADRの申立てについて相談したいという方など

●日時 11月26日(土)午前10時~午後4時

●会場 ウエスタ川越 会議室1  
JR線・東武東上線川越駅徒歩5分

●内容 個別相談 10:00~16:00  
対象:原子力損害においてお困りの全ての皆様  
相談時間は1回1時間(時間予約制)

●連絡先 全体説明会へのご参加、個別のご相談は事前予約をお願いいたします。(全体説明会、個別相談のいずれか一方のみでもご参加いただけます。)  
予約専用ダイヤル120-330-540  
受付時間9:30~17:00 土日受付(祝日を除く)